



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月6日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <https://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 山本 敬史

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	76,436	11.3	483		543		437	
2022年3月期第3四半期	68,645		86		0		32	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 572百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 62百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	32.73	
2022年3月期第3四半期	2.43	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、上記の売上高に係る対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,884	8,095	27.1
2022年3月期	21,070	7,554	35.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,095百万円 2022年3月期 7,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		4.00	4.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,800	2.3	210		330		250		18.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,774,819 株	2022年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	359,237 株	2022年3月期	452,214 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,371,639 株	2022年3月期3Q	13,278,843 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(表示方法の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスとの併存に向けた政策が進められ、景気は緩やかに回復に向かいました。新型コロナウイルス感染症については、一時的に感染者数が増加する時期はあったものの新たな行動制限は実施されず、加えて政府による旅行支援策や水際対策の緩和等もあり、経済・社会活動の正常化に向けた動きが進んでいます。一方、ウクライナ情勢の緊迫化に伴う原材料価格の高騰、日米の金利差による円安等により、消費者物価の高騰が続いております。また、各国の金融引き締めなど、先行きは不透明な状況にあります。

当水産流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きつつあり、消費全体は徐々に回復しました。しかしながら、エネルギー資源の高騰による物流コストの増大、諸外国での消費の回復、為替の影響等により引き続き食品全般の価格上昇が続いております。魚価についても依然として高値で推移し消費量の拡大が難しい中、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、安全・安心な水産物を安定供給するという社会的使命を果たすべく、産地出荷者とのネットワークの強化等に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は764億36百万円（前年同期は売上高686億45百万円）となりました。損益面では、営業利益は4億83百万円（前年同期は営業損失86百万円）、経常利益は5億43百万円（前年同期は経常損失0百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億37百万円（前年同期比4億5百万円増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（水産物販売事業）

水産物販売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を部分的に受けましたが、当期間を通して回復基調となりました。特にサンマ、サバ、チリメン等の天然水産物は気候変動等による漁獲量の低迷により供給量が減少し、ブリ、タイ等の養殖物も在池量の減少により供給量は減少しました。また、輸入水産物についてはカニ等の一部の魚種では消費が進まず相場下落はありましたが、全体的な魚価は引き続き高値圏で推移しました。一方、需要面では内食から中食・外食への需要の変化がみられる中、居酒屋業態等は回復が遅く、また量販店においては底堅い需要はあるものの、魚価高により取扱数量は減少しました。このような状況下、海外への販売が比較的好調に推移したことや、引き続き積極的な集荷・販売と粗利率の向上に取り組んだこと等により、売上高、セグメント利益ともに前年同期の実績を上回りました。

その結果、売上高は762億91百万円（前年同期は売上高685億2百万円）となり、セグメント利益は5億85百万円（前年同期比5億61百万円増）となりました。

（冷蔵倉庫等事業）

冷蔵倉庫等事業は、売上高が1億84百万円（前年同期比4百万円増）となりましたが、利益面では電気料金の高騰等から販売費及び一般管理費が増加したことによりセグメント損失は0百万円（前年同期は6百万円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて88億14百万円増加し、298億84百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が68億32百万円、商品及び製品が20億72百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて82億73百万円増加し、217億89百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が38億46百万円、短期借入金が42億円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億41百万円増加し、80億95百万円となりました。これは利益剰余金が3億83百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、2022年5月10日付の「2022年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想を据え置いております。通期連結業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,283	2,385
受取手形及び売掛金	7,609	14,442
有価証券	—	28
商品及び製品	5,376	7,448
短期貸付金	150	60
未収消費税等	213	69
その他	222	242
貸倒引当金	△139	△184
流動資産合計	15,715	24,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	766	754
土地	1,723	1,723
その他（純額）	185	147
有形固定資産合計	2,675	2,624
無形固定資産	89	74
投資その他の資産		
投資有価証券	2,284	2,419
長期貸付金	376	362
破産更生債権等	231	229
固定化営業債権	1,015	992
繰延税金資産	6	—
その他	110	100
貸倒引当金	△1,434	△1,411
投資その他の資産合計	2,591	2,692
固定資産合計	5,355	5,391
資産合計	21,070	29,884

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,882	10,728
短期借入金	1,750	5,950
1年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	376	514
未払法人税等	34	90
賞与引当金	130	44
その他	324	390
流動負債合計	9,747	17,968
固定負債		
社債	600	600
長期借入金	600	600
繰延税金負債	337	378
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	67	75
退職給付に係る負債	1,451	1,451
その他	460	463
固定負債合計	3,769	3,821
負債合計	13,516	21,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,644	4,027
自己株式	△114	△91
株主資本合計	6,379	6,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	876	991
繰延ヘッジ損益	△7	11
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	88	88
その他の包括利益累計額合計	1,174	1,308
純資産合計	7,554	8,095
負債純資産合計	21,070	29,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	68,645	76,436
売上原価	64,028	70,962
売上総利益	4,617	5,473
販売費及び一般管理費	4,703	4,990
営業利益又は営業損失(△)	△86	483
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	63	71
受取賃貸料	121	129
その他	13	23
営業外収益合計	202	226
営業外費用		
支払利息	14	21
賃貸費用	68	73
為替差損	14	68
その他	20	2
営業外費用合計	117	166
経常利益又は経常損失(△)	△0	543
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	85	1
特別利益合計	87	1
特別損失		
減損損失	—	1
固定資産除却損	15	—
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益	71	543
法人税、住民税及び事業税	20	111
法人税等調整額	18	△5
法人税等合計	38	105
四半期純利益	32	437
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	437

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	32	437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	115
繰延ヘッジ損益	6	19
退職給付に係る調整額	△2	△0
その他の包括利益合計	△94	134
四半期包括利益	△62	572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62	572
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書）

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「為替差損」は、金額的重要性が増したため、第2四半期連結累計期間より区分掲記することにいたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替を行っております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響の仮定や会計上の見積りに重要な変更はありません。

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,502	143	68,645	—	68,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37	37	△37	—
計	68,502	180	68,682	△37	68,645
セグメント利益	23	6	29	△116	△86

(注) 1. セグメント利益の調整額△116百万円のうち、△105百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△10百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,291	144	76,436	—	76,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39	39	△39	—
計	76,291	184	76,475	△39	76,436
セグメント利益又は損失 (△)	585	△0	584	△101	483

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△101百万円のうち、△97百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△4百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、1百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
水産物販売事業		
鮮魚	26,793百万円	30,198百万円
塩冷その他	41,708	46,092
冷蔵倉庫等事業	143	144
顧客との契約から生じる収益	68,645百万円	76,436百万円
その他の収益	－百万円	－百万円
外部顧客への売上高	68,645百万円	76,436百万円